

令和7年度 春江中学校 評価・評定について

各教科では年度当初に年間指導計画を立て、その計画に基づいて授業計画を練って学習指導を行います。そして、各生徒が教科担任の設定する学習目標に対し、どれくらい理解し、身につけているかを割合で評価し、それを総括し評定を出します。その方法についてお知らせいたします。

【評価について】

各教科で単元ごとに目標を設定し、観点別に評価します。各教科で3つの観点が設定されています。それぞれの観点は、学期ごとに同じ比重で設定しています。学習目標に対する各生徒の到達度により、評価を付けます。その基準は右表のとおりです。

- A: 十分満足できる
- B: おおむね満足できる
- C: 努力を要する

評価	目標に対する到達度の割合
A	80%以上
B	50%以上 80%未満
C	50%未満

【評定について】

単元のまとめごとに行った観点別評価を総合して、各学期に5段階の評定をします。その基準は右表のとおりです。

- 5: 「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
- 4: 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- 3: 「おおむね満足できる」と判断されるもの
- 2: 「努力を要する」状況と判断されるもの
- 1: 「一層努力を要する」状況と判断されるもの

評定	目標に対する到達度の割合
5	90%以上
4	80%以上 90%未満
3	50%以上 80%未満
2	20%以上 50%未満
1	20%未満

※1 1,2年生の3学期の評価・評定は、1学期～3学期のものを総合して算出されたものになります。

※2 3年生の2学期は1～2学期のものを総合して算出されたものになります。

※3 通知表では到達度があと少し上がれば評定が上がるものには数字横に「○」、あと少し下がると評定が下がるものには数字横に「△」がつきます。

《注意点》

- 観点別評価が、すべての観点がAであっても評定が4になることがある。
(評価Aの基準は80%以上であるが、評定5の基準は90%以上であるため)
- 同じようにすべての観点別評価がすべてCであっても、評定は1と2の場合がある。

<評価・評定の例> ()内の%は、到達度

観点	生徒1		生徒2		生徒3	
	評価	評定	評価	評定	評価	評定
知識・技能	A(84%)	4(81.7%)	A(96%)	5(90.7%)	B(78%)	3(78.3%)
思考・判断・表現	A(81%)		B(78%)		B(79%)	
主体的に学習に取り組む態度	A(80%)		A(98%)		B(78%)	

通知表は、生徒の学校生活の実態や成長の様子を保護者の皆さまにお伝えするものです。学校とご家庭とで、協力して継続的にお子さまの成長のために使う1つの参考資料となります。終業式の日配布されましたら、よくご覧いただき、学校での学習成果や生活について一緒に考え、お子さまのやる気を引き出すようご活用ください。